

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第19週の発生動向

・**風しん** (全数把握対象) の報告が1例あった (2013年52週以来の報告)。宮崎市保健所からの報告で、患者は30歳代男性、ワクチン接種歴は不明であった。

・定点医療機関からの報告総数は771人 (定点あたり21.8) で、前週比76%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は水痘であった。減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。

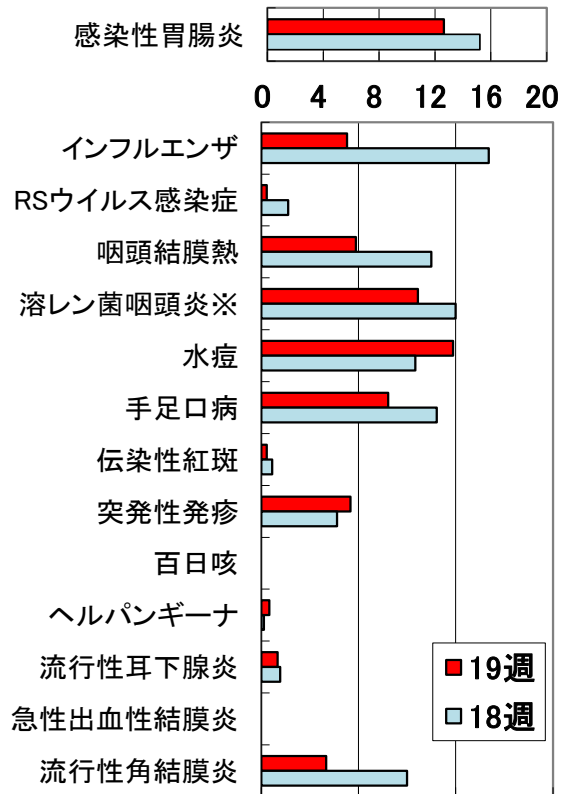
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

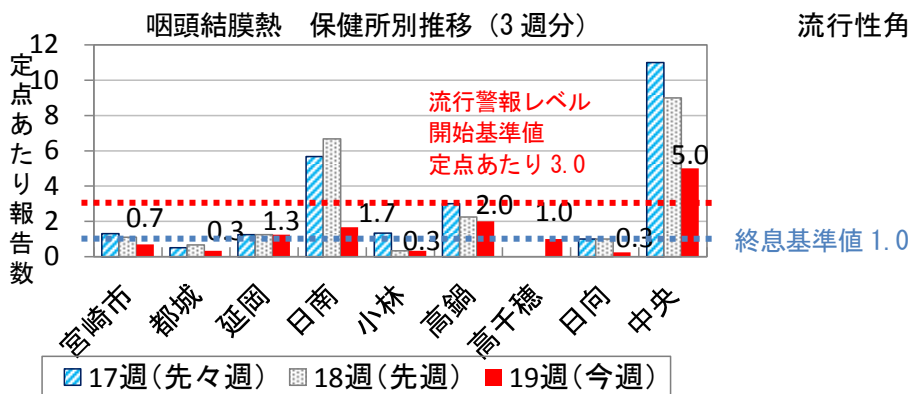
・報告数は35人 (0.97) で前週比56%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.72) の約1.3倍であった。中央 (5.0) 保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から4歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値

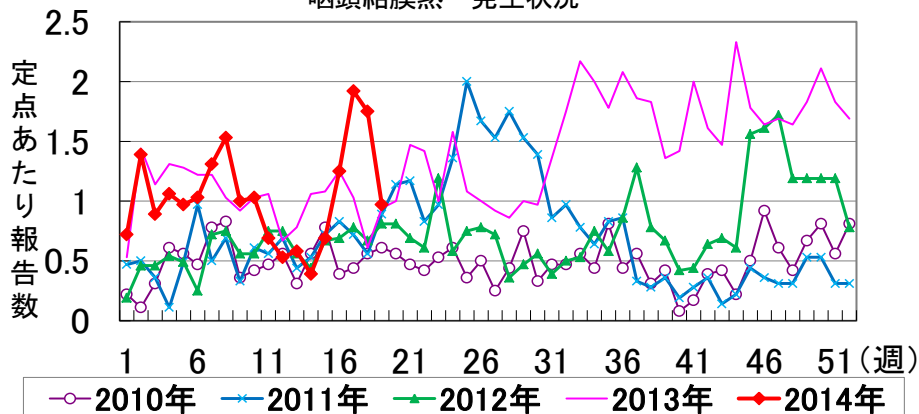
《前週との比較》



定点あたり報告数
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



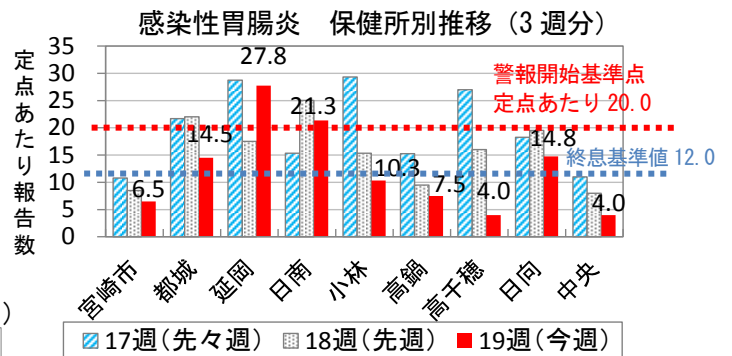
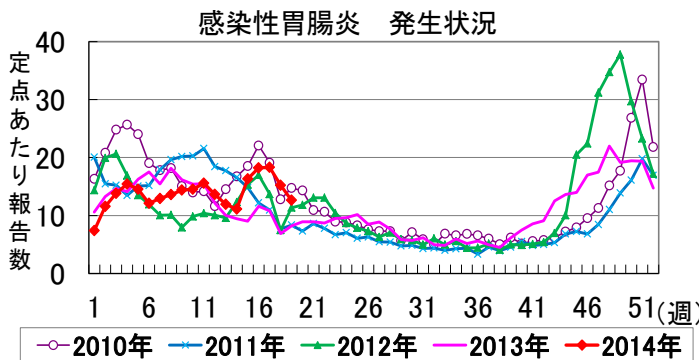
咽頭結膜熱 発生状況



【感染性胃腸炎】

・報告数は455人(12.6)で前週比83%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(10.3)の約1.2倍である。延岡(27.8)、日南(21.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

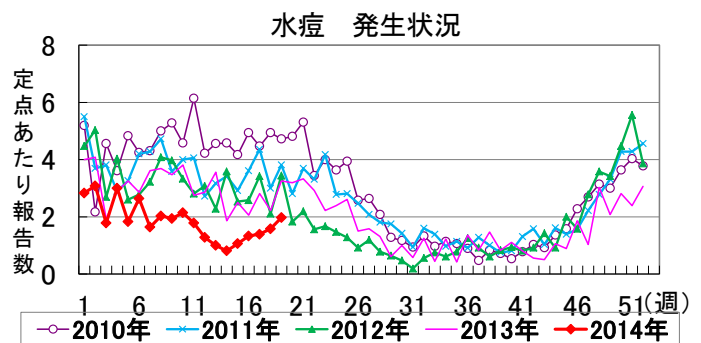
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



【水痘】

・報告数は71人(2.0)で前週比125%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.3)の約6割である。年齢別では1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) : 都城保健所管内から2人、高鍋保健所管内から1人報告された。患者は1歳が2名、3歳が1名であった。いずれも群別不明。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(27.8)
日南	感染性胃腸炎(21.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(5.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)

■ 全数把握対象疾患（19週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 1 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	都城	90歳代	男	肺結核	咳
5類	風しん	宮崎市	30歳代	男	臨床診断例	発疹、発熱、リンパ節腫脹、頭痛

■ 全国第 18 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 16.2 で、前週比 84%と減少した。今週増加した主な疾患は水痘であった。減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

水痘の報告数は 3,224 人(1.0) で、前週比 113%と増加した。福井県(2.5)、沖縄県(2.2)、新潟県(2.0)からの報告が多く、年齢別では 1~5 歳が全体の約 8 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 22,342 人(7.2)で、前週比 84%と減少した。福井県(16.4)、宮崎県(15.6)、大分県(14.0)からの報告が多く、年齢別では 1~4 歳が全体の約半数を占めた。

□ 全数把握対象疾患（全国第 18 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	309 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	5 例	つつが虫病	5 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	1 例	レジオネラ症	13 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	7 例	急性脳炎	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	ジアルジア	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	31 例	梅毒	13 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	10 例	麻しん	9 例

■ 月報告対象疾患の発生動向 <4月>

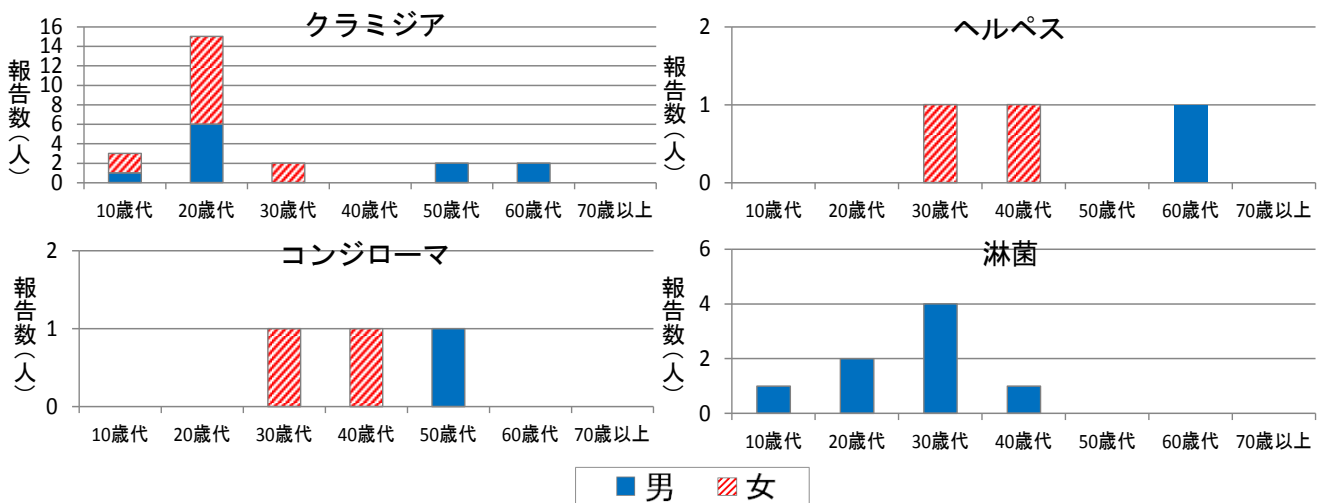
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人（2.9）で、前月比152%と増加した。また、昨年4月（3.4）の約9割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人（1.9）で、前月の約1.5倍、昨年4月の約9割であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性11人・女性13人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月の約1.5倍、昨年4月の約3割であった。（男性1人、女性2人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月の約3倍であった。（昨年4月報告なし）（男性1人、女性2人）
- 淋菌感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約1.3倍、昨年4月の約9割であった。30歳代が全体の約半数を占めた。（男性8人）



【全国】 定点医療機関総数：970

定点医療機関からの報告総数は3,941人（4.1）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,018人（2.1）で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症711人（0.73）で前月比101%、尖圭コンジローマ462人（0.48）で前月比109%、淋菌感染症750人（0.77）で前月比99%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人（3.4）で前月比86%と減少した。また昨年4月（4.4）の約8割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人（3.3）で、前月の約9割、昨年4月の約9割であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で、前月と同程度、昨年4月の約2割であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：473

定点医療機関からの報告総数は1,725人（3.6）で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,494人（3.2）で前月比101%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症212人（0.45）で前月比125%、薬剤耐性緑膿菌感染症15人（0.03）で前月比60%、薬剤耐性アシネトバクター感染症4人（0.01）であった（前月報告なし）。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第19週(05月05日～05月11日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	138	52	11	8	5	9	15	2		2	
	定点あたり	2.34	0.88	0.69	0.80	0.71	1.80	3.00	0.33	0.00	0.33	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	2			2						
	定点あたり	0.28	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	63	35	7	2	5	5	1	8	1	1	5
	定点あたり	1.75	0.97	0.70	0.33	1.25	1.67	0.33	2.00	1.00	0.25	5.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	72	58	8	10	19	5		4	1	11	
	定点あたり	2.00	1.61	0.80	1.67	4.75	1.67	0.00	1.00	1.00	2.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	548	455	65	87	111	64	31	30	4	59	4
	定点あたり	15.22	12.64	6.50	14.50	27.75	21.33	10.33	7.50	4.00	14.75	4.00
水痘	報告数	57	71	28	9	4	9	3	17		1	
	定点あたり	1.58	1.97	2.80	1.50	1.00	3.00	1.00	4.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	65	47	30	3	8	1		1	1	1	2
	定点あたり	1.81	1.31	3.00	0.50	2.00	0.33	0.00	0.25	1.00	0.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	4	2		1		1					
	定点あたり	0.11	0.06	0.00	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	33	11	3	5	4	4	2		2	2
	定点あたり	0.78	0.92	1.10	0.50	1.25	1.33	1.33	0.50	0.00	0.50	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	3	1		1			1			
	定点あたり	0.03	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	6	3		2	1					
	定点あたり	0.19	0.17	0.30	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	4	4								
	定点あたり	1.50	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	8	3		2				1			
	定点あたり	1.14	0.43	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

* 第18週の報告数は一部修正されています。

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～19週)

2類感染症	結核	68例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	5例	ポツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例
	梅毒	5例	破傷風	1例	風しん	1例(1)
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲